

2017-2018 ガバナー月信

# GOVERNOR'S Monthly Letter 2

## 函館最初物語



我が国最初の  
【洋船箱館丸】  
安政4年(1857年)、続豊治が箱館奉行の命令で建造した箱館丸は、外国人の手を借りずに作った我が国最初の西洋型船(スクーネル型)である。次に建造した亀田丸は、ニコライエフスキまで航海した。  
(伊豆君沢郡の芦田丸は君沢型として有名だが、これはロシア人が指導したものである)。



ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

国際ロータリー第2510地区 2017-2018年度ガバナー 国立金助

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL(011) 207-2510 FAX(011) 207-2512

E-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

2017-2018年度国際ロータリーのテーマ

# 「ロータリー：変化をもたらす」



## 国際ロータリー第2510地区 2017-2018年度地区目標

1. 世界ポリオデーの支援

あと少しで我々ロータリアンは「ポリオ撲滅達成」という歴史的瞬間に立ち会おうと  
しています。

2. 地区委員会と各クラブの連携強化

地区委員会には、クラブ支援をする大切な役割があります。  
地区への相談窓口「クラブ管理運営委員会」を設置。

3. 取り戻そう「ロータリーの心」

そして伝えよう「次世代を担う青少年へ」。  
ロータリーの「人の役に立とう」と言うサービス精神は、112年経った今も健在です

### CONTENTS

●ガバナーメッセージ..... 1	●ハイライトよねやま..... 7
●ロータリーの心..... 2	●ロータリーコーディネーターNEWS..... 8
●2017年冬季受入学生帰国送別会..... 3	●米山奨学生のご紹介..... 9
●第16回北海道ローターアクト交流会..... 4	●米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付..... 9
●新会員の研修について..... 5	●地区カレンダー2月・3月..... 10
●ガバナー公式訪問報告..... 6	●出席率・会員数..... 11
●日本人親善朝食会のご案内..... 6	●トロント国際大会案内..... 12
●新会員のご紹介..... 7	●文庫通信..... 13





## RIの変化と共に地区のあり方も 変わる時代を向かえて

国際ロータリー第2510地区

2017-2018年度ガバナー **国立金助**

(函館RC)

2017～18年ガバナー会は、決定機関でなく親睦会であり、地区間同志の共通認識を確認する場である事を申し合せると共に、大いなる危機感も共有しております。

### [RIの変化]

1. クラブの柔軟性を認める。  
(各クラブ3～5年後のクラブのあり方を検討)
2. 第1ゾーンに海外より3カ国が入ってくる。  
第1ゾーンの変化～バングラディシュ、インドネシア、パキスタンが入る。  
第2570地区、第2770地区、第2790地区、第2840地区(埼玉・千葉・群馬)は第2ゾーンへ移動。

### ゾーンの構成

#### SectionA : Japan

第2500地区、第2510地区、第2520地区、第2530地区、第2550地区、第2560地区、第2800地区、第2830地区

#### SectionB : Bangladesh, Indonesia, Pakistan

第3271地区、第3272地区、第3281地区、第3282地区、第3410地区、第3420地区

3. 2020年より財団の中にロータリー平和フェローシップ小委員会が新たに設置される。
4. 世界ロータリーの会員数の増加率は直近1年の傾向で見ると、インドが大幅増で1位、次いで台湾(東南アジアで頑張っている)、パキスタンの順番になっている。

以上のRI変化に伴い、第2510地区ガバナー会でも危機感を共有して下記の対応策を確認し、各地で努力する事としています。

- ①同じ文化圏をもつ地区同志の交流強化  
特に、台湾・韓国との親善会議の強化並びに地区間姉妹交流の強化。

(既に台湾地区との地区姉妹締結が2地区決定、交渉中2、3地区あります)更に姉妹締結の現状を知る為に各地区を通して地区姉妹、クラブ間の姉妹クラブの状況を把握するため、アンケートの依頼をしています。

- ②クラブの柔軟性が認められましたので、各クラブよりRIに対する要望の増える可能性が大の為、地区としての新たなる対応が求められている。
- ③2020年度より財団委員会の中にロータリー平和フェロー小委員会が設置されるという事ですので、次回【世界平和を希求する重要プログラム・ロータリー平和センター】について下記の点をお話させていただきます。
  1. ポール・ハリスとプログラムの関係
  2. センターが設置される大学はどのように決まるか
  3. プログラムの平和への貢献としてどのような事をしているのか
  4. ロータリー平和センターの現況
  5. ロータリー平和フェローの応募と選考について
  6. 日本からの応募状況
  7. フェローに支給される奨学金はどれくらいで、その資金源はどこから出ているのか

いよいよ2月に入り、小山ガバナーエレクトも米国サンディエゴでの研修を終え、次年度へ向けて、本格的に活動する時期となりました。皆様が本年度経験した中で得た知恵を次年度へ引継いで戴き、本年度以上に次年度で素晴らしい活動が出来る様、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。



## ロータリーの心

地区職業奉仕・基本理念委員会

委員長 玉井 清 治

(函館亀田RC)

今年の国際協議会においてバリー・ラシンRI会長エレクトは次年度のテーマを「インスピレーションになろう」BE THE INSPIRATIONと発表いたしました。インスピレーションを「ひらめき」と訳すならば、このテーマは「何かをやろうとする気持ち」をロータリーが先頭になって起爆剤として、地域社会を動かそう！とRI会長が私たちに発信していると私は個人的に解釈したところですが、この機会に是非、皆様のクラブで、「INSPIRATION」と「BE THE INSPIRATION」を話し合ってみてはいかがでしょうか。ラシン氏は発表演説のなかで、「行動を起こす意欲を引き出していきたいのです」とも訴えていました。

このテーマを深く考えていくと、「ロータリーの心」に到達いたします。よくポール・ハリスのロータリーに帰れとか、原点にもどれとかいわれますが、初期ロータリーの考えでは、「奉仕」とは「奉仕の心の育成」/foster of ideal service と「奉仕の心の適用」/application of ideal service の2つに峻別され、「奉仕の実践」の前にまず「奉仕の心の育成」がなければならない。とされています。その証拠にロータリーの目的（綱領）の前文に「奉仕の理念の育成」とはっきり明記されています。最近、奉仕の心の育成がおろそかにされ、奉仕の実践のみが叫ばれているような気がしますし、このふたつが混同し理解されているように思えてなりません。

最近、企業の不祥事が頻発しています。その結果、たとえ優良な企業であっても、マスコミの厳しい批判にさらされて一瞬にして企業の信用を失墜して消滅するという事例が数多くあります。ロータリアンが経営者ならば、これはまさしく「ロータリーの心」の欠如であり、謝罪記者会見で背広の襟にロータリーバッジが光っていないかヒヤヒヤしているのは私だけでしょうか？ロータリーのバッジには「ノーブレス オブリージュ」の義務が伴います。「ノーブレス オブリージュ」とは「高貴なる者に伴う義務」の意味をあらわすフランス語です。我々は社会の模範となるように振舞うべきだという社会的責任を自覚しなければなりません。つまりロータリーのバッジを着用するのは、先輩たちから前借りしたロータリーの信用を返していかなければならないということ。ロータリーのバッジをつけるということは、ロータリーの目的と精神を実現するためなのです。

最近、特に大企業による不祥事は単発的なものではなく、十数年いや、数十年続いた不正が「内部告発」によって表面化するケースが大半です。これは何を意味するかというと、「不正は許せない」

と考える現場の人が増えてきた結果、連綿と続いてきた不正が次々に露見している現象と受け止めるべきでしょう。つまり、経営者より、従業員のほうが、コンプライアンスにより厳しい考えを持ってきていると考えるべきであり、一部の経営者を除く職業人のモラルが向上していることで、日本の国もまんざらでもないようにも思えます。

昨今、これらの事例を集約して、コンプライアンス、法令遵守ということが提唱されています。しかし、法令を守るということは、人間として当たり前のことで、法令というものは人間として守るべき倫理の最低基準を示すものに過ぎません。したがって、ロータリアンは法令を守っていればよいというレベルの問題でないということ。実は、ロータリーの提唱する職業倫理は、このようなレベルの低いものではありません。法令遵守よりも遥かにレベルの高い倫理基準を提唱するものです。ポールハリスは「ロータリーは、その人の得た金銭の高さによって、その人を計らない事である」と語っています。では、何によって計るのでしょうか？「その人の得た業績は金銭的な物もあり、金銭でないものもあり、目に見えないものもあるでしょう。その業績を上げるに至った前提になる心の質の問題に着目して、人を評価することを職業奉仕の考え方と呼ぶ」と彼は定義しています。札びらで人の頬を叩く様な事はするなよ！金が溜ったというのは、たまたま運がよかっただけではないか。俺が業績を上げた威張るのは結構。だけ、外の人ならもっと業績を上げたかもしれない。金が溜まらなかつたとしても、良い因縁をまいておけば、それが2・3年後に開花して良い果実を産むかもしれないじゃないか。現在の金高だけで判断をしてはいけない、と語っています。

職業奉仕は職業倫理を高揚することではなく、職業奉仕の実践が、結果として高い職業倫理につながることを100年以上前の先輩は私たちに伝えてくれています。

クラブ例会がロータリアンの「ロータリーの心」を高揚させる素晴らしい場所であることは間違いありません。国立ガバナーが発信する「ロータリーの心」を今一度真剣に考えなければならない時期に来ているのは間違いのないことです。ロータリーは積極的に参加する人に素晴らしいプレゼントをたくさん与えてくれます。しかし、何もしない人には年会費の請求書しかくれません。皆様はどちらを選びますか？

参考文献：塚原房樹 RI2510PG (札幌東RC) 著  
「ロータリーのバッジはいいバッジである」





## 2017年冬季 受入学生帰国送別会

地区青少年交換委員会

委員長 西村 英 晃

(恵庭RC)

青少年交換長期交換プログラムでオーストラリア9685地区より恵庭ロータリークラブが約1年受入をしておりました2016-2017年度受入学生・アンナ ラローマニさんの送別会を2018年1月6日(土)に札幌パークホテルにて開催いたしました。



この度の送別会には国立ガバナーはじめ森川地区代表幹事、石山地区副代表幹事もご出席、ホストクラブ、ホストファミリー、アンナさんを一年間担当して頂いたボランティア日本語教師の方、学校の先生に参加して頂き、盛大に開催ができたことお礼申し上げます。また、国立ガバナーから直接修了証書を受け取ることもできました。



2016-2017年度はアメリカ5100、5910地区、オーストラリア9685、9790地区、フィンランド マルチ地区、ドイツ・マルチ地区との長期交換を致しました。学生は一年を通して各ホストクラブの元ホストロータリークラブの例会や行事に参加、ホームス

テイ、高校へ通い、ロータリーの理解を深め、日本の文化に触れて、友人、もう一つの家族を作り、日本語を習得し帰国いたしました。

現在も、当地区は2017-2018年度アメリカ5100、5440地区、オーストラリア9685地区との間で長期交換が行われております。



これもひとえに、当プログラムへの皆様方の日頃よりのご理解ご協力のため継続できているものと存じます。

さて、1月6日は、2018-2019年度派遣候補生オリエンテーション、2017-2018年度冬季受入学生のホストクラブ/ホストファミリー向けオリエンテーション後送別会を開催いたしました。

その中では、アンナさんより、一年間の思い出を振り返る日本語でのプレゼンテーション、次年度の派遣候補生の紹介、ROTEXからのスピーチが行われました。

今後2018-2019年度長期交換は2名の交換となりますが、より多くの未来ある学生に、一生に一度の貴重な体験を是非して頂きたいと思っておりますので、2018年6月から募集が始まります2019-2020年度募集では各クラブより多くの学生のエントリーをお待ちしております。





## 第16回北海道ローターアクト交流会

地区ローターアクト委員会

委員長 川下和光

(札幌南RC)

平成29年11月18日～19日の2日間、千歳市にて「CROSSING ACT ～北海道ローターアクトクラブの繋がりを～」というテーマの下、「第16回北海道ローターアクト交流会」が開催されました。

本交流会は、北海道に住み、ローターアクトの活動に取り組む仲間と、グループミーティングなどを通じて情報交換を行い、親睦を深め、自分達の職場や今後のローターアクト活動に良い影響を与える環境を提供することを基本とし、両地区の交流強化と参加者個人の自己研鑽を目的としています。

16回目を迎えた今年度は第2500地区と第2510地区のローターアクター64名に加え、北海道外からも26名のローターアクターが来道してくださり、ロータリアンを合わせると約130名の方にお集まりいただきました。交通の便が良い千歳市での開催となったこともあり、北海道外のローターアクターの参加者は過去15年で最も多かったと川下ローターアクト委員長が教えてくださいました。

本交流会のメインイベントでありますプログラム①では、第2510地区ポリオ・プラス委員長の伊藤利道様をお招きし、「ポリオとロータリー」というテーマでご講演をいただきました。その中で、ロータリークラブの地道な活動の積み重ねがポリオ撲滅という世界の歴史を変える可能性があるものだという事に感動いたしました。ご講演後には千歳市内で募金活動を行わせていただき、微力では

ありましたが、少しでも貢献できたなら幸いです。

プログラム②では、各チームに分かれてリレーや長縄跳びなどを行いました。チーム対抗のゲームを行うことで、初対面の方とも自然と会話が生まれ、距離が一気に縮まりました。終盤には一体感のあるチームもいくつか見られ、交流を深められたのではないかと思います。

本交流会の開催を通して、北海道の両地区のみならず、ご出席いただいた北海道外各地区のローターアクターとの親睦も大いに深められたことと思います。この繋がりをきっかけに、お互いのローターアクト活動を紹介し合い、自地区・自クラブの活動を見直したり、よりよい活動を模索したり、さらには会員減少やクラブ解散など各々が抱えている課題について共に考え、解決の糸口を見出すことにもつながっていくことを願っています。

最後に、大変お忙しい中ご出席くださいました小山司ガバナーエレクト、福田武男ガバナーノミニ、川下和光ローターアクト委員長をはじめとするご来賓ならびにロータリアンの皆様、遠路はるばるお越しくださりました北海道外のローターアクターの皆様、また、本日まで準備にご尽力いただいた森実行委員長をはじめとする千歳ローターアクトクラブの皆様と、提唱クラブであります千歳ロータリークラブ・恵庭ロータリークラブ・千歳セントラルロータリークラブの皆様にご心より感謝申し上げます。





# 新会員の研修について

地区クラブ支援委員会

委員 伏 木 淳

(札幌西RC)

地区クラブ支援委員会は、地区内の各クラブがより活性化した運営が出来るよう、必要に応じてロータリーに関する情報を提供するなど、サポートを行う役割を担っています。

私は、ロータリーの経験年数が浅いながらも、このクラブ支援委員会に所属させていただき、分からないことが多く悪戦苦闘続きですが、地区役員の皆様、委員会の皆様をはじめ多くの皆様の暖かいご指導を賜りつつ何とか取り組んでいるところです。

さて、新会員の研修につきましては、各クラブにて様々なやり方にて鋭意取り組まれているものと拝察しますが、いくつかのクラブから「オリエンテーションや研修会等のやり方で何か有効なものはないだろうか？」との悩みも聞こえてきたと伺いました。

先の函館での地区大会の折、当委員会にて各クラブの皆様アンケートを取らせていただき、その中で「新会員研修」についてお聞きしましたが、定型的な研修プログラムを持っていないか、持っているが、有効に機能せず定着率に結びついていないような悩みを持つクラブもいらっしゃいました。

当委員会といたしましては、地区として何らかの有効な「新会員研修用の定型的なテキスト」を作れないものか？現在検討を重ねているところです。この件は、私は余り貢献出来ておりませんが、かたちがハッキリ見えて来ましたら皆様にもご報告できるものと思います。

また、地区として、新会員の研修の一環でもあり、かつ定着率を上げる目的もあると思いますが、去る1月27日～28日に「新会員合宿セミナー」が登別温泉にて開催されました。

今回の研修会は2年振りの開催ですが、私自身は、今回は新会員の立場にて参加させていただき、二人のバスターガバナーの方の講演をお聞きし感銘を受け、その後の地区内の様々な方ともグループ討論をし、夜の「部屋呑み」になってからも本音も交えて色々と交流が出来、大いに有益な研修だったことを覚えています。

私は、今回は地区委員の立場にて参加しましたが、研修内容は前回と同様で、二人の方の講演の後、研修参加者60数名を8つのグループに分けたグループワークショップが行われました。与えられた内容は、「自分が会長になったら何をしたいか」を自由に発言し、それを実現するための方策についてディスカッションを約1時間行うというものでした。

もちろん今回もワークショップ第2部(グループごとの部屋呑み)が行われ、クラブ運営のことでも様々なホンネを出し合ったり、プライベートな話でも大いに盛り上がり、午前零時を越えてまで懇親を深めていたグループもあったようでした。

想像ですが、会員数が少なく若年層が余り居ないクラブの新会員にとっては、普段は自分と近い年齢のロータリアンと話すことが少ないところ、こういう地区の合同研修会があれば、若いロータリアン同士の交流も出来、そういうことも定着率に繋がって来るのでは？と感じました。

今回の参加者からは様々な感想や意見が寄せられていると思いますが、それらも踏まえて、今後も一層有益な合同研修が企画されると想像できますので、その折には、経験年数の少ない会員の方には、ぜひ参加されますことお勧めいたします。

## ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますのでご了承下さい。

### 函館セントラルロータリークラブ 11/14

昨年11月14日(火)国際ロータリー第2510地区国立金助ガバナー、10グループ担当石川強ガバナー補佐、坂本修康地区副代表幹事、藤井方雄ロータリーの友地区代表委員をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。

16時より会長幹事懇談会、17時よりクラブ協議会、18時より夜間例会が行われました。会長幹事懇談会では当クラブの現状についてお話をさせて頂き、ガバナーより、貴重なご意見と第2510地区に対する思いを聞かせて頂きました。

クラブ協議会では、各委員会の活動計画発表の後に、国立ガバナーより各委員会について講評を頂きました。ガバナーより「ロータリーに対して基本に忠実でまじめなクラブ」とのお言葉を頂きました。

夜間例会では国立ガバナーより講話を頂きました。ガバナーの3つの目標である、1. ポリオの撲滅、2. 地区委員会と各クラブの連携を図っていく、3. 取り戻そうロータリーの中で、ポリオ撲滅という歴史的瞬間がもう間近になっている今、我々が力を尽くしたいという意思表示の為に「POLIO END NOW」というバッジを皆様につけて頂くよう67クラブを廻って皆様にお願いをされたお話、2つ目の地区委員会と各クラブの連携については、2510地区内での、30名以下の会員のクラブの現況と地区委員会のかかわりについて、3つ目の取り戻そうロータリーの心とは、他人を思いやる心、日本人の真心、それを今忘れかけているのではないかとの思いを熱くお話しいただきました。当クラブ会員一同は、ガバナーの思いを強く受け止め、今年度活動計画書に基づき活動を進めて参りたいと思います。

当日は、国立ガバナー、石川ガバナー補佐、坂本地区副代表幹事、藤井方雄ロータリーの友地区代表委員、公式訪問ありがとうございました。

長い公式訪問中に行いました、各グループのロータリアンのご指導、お疲れ様でした。これからも、お体に十分お気を付けになって頂き、引き続き宜しくお願い致します。



### ロータリー国際大会

トロント(カナダ、オンタリオ州)  
2018年6月23日～27日



riconvention.org/ja

## 日本人親善朝食会のご案内

国際ロータリー理事 斎藤 直美

国際ロータリー理事 石黒 慶一

厳寒の候、皆様には益々ご隆昌のこととお慶び申し上げます。  
さて、ご周知の通り、国際ロータリー年次大会がカナダ・トロントで開催されます。  
つきましては恒例の「日本人親善朝食会」を下記要領にて開催します。  
奮ってご参加下さいようお願い申し上げます。

**【開催日時】：2018年6月24日(日)**

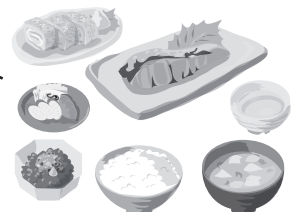
開 場(予定) AM6:30\*

朝食会(予定) AM7:00～8:30\*

※RI会長の挨拶を予定しております。

※変更が生じる可能性があります。最終的な時刻は、2018年5月以降に通知する最終案内で確定します。

**【場 所】**：ハイアット・リージェンシー・トロント  
**【会 費】**：一人 10,000円(着席)  
**【定 員】**：先着500名  
**【締 切】**：2018年3月31日(土)



《お問合せ》詳しくは地区ガバナー事務局へ。



## 新会員のご紹介

(敬称略)



札幌はまなすRC  
**森 成世**  
10月17日入会  
建設業



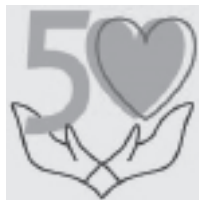
砂川RC  
**藤田 秀邦**  
1月10日入会  
住 職



苫小牧RC  
**北條 康夫**  
1月12日入会  
自動車部品製造



苫小牧RC  
**秋山 充**  
1月12日入会  
行政書士



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

2018.1.15

# ハイライトよねやま

Vol.214

## 第3代よねやま親善大使を募集します！

「よねやま親善大使」は、日本全国のロータリー地区大会・セミナー・例会などで、米山学友の代表としてスピーチすることにより、当事業への理解を広める活動をしています。これまでに、初代2人、第2代3人の計5人が選任され、このたび“第3代”よねやま親善大使を大募集します。対象となるのは、日本国内在住の米山学友(2018年6月終了者

含む)で、任期は2018年7月からの2年間。応募締切は、2月19日(当会必着)です。詳しくは、当会ホームページの「News & Topics」欄からご覧ください。

皆さまの地区・クラブでお世話いただいた学友で適任の方がいれば、ぜひご推薦ください！  
(学友ご本人からの応募が必要です)

## 2018-19年度地区米山記念奨学委員長セミナー開催報告

12月7日、次年度の地区米山記念奨学委員長を対象とした第1回セミナーを開催しました。午前、小沢一彦理事長からのあいさつに続いて、第2720地区前委員長の秋吉実氏による講義「委員長を経験して気付いた米山事業の魅力と可能性」と、第2800地区委員長の久保章宏氏による事例報告「理解促進から寄付増進へつなげる」、続いて午後は、テーマ別のグループディスカッションや質疑応答、選考・学務委員の井原實氏からの講評など、盛りだくさんの内容で行われました。アンケートでは、「初参加だったが学ぶ

ことが多かった」「地区では聞けない米山活動について多くの課題解決のヒントが得られた」などの声をいただきました。第2回セミナーは6月15日に開催予定です。



### ご寄付の確定申告 領収書について

昨年1年間(1~12月)に特別寄付をしたすべての方、もしくは普通寄付の領収証を申請したクラブには、1月末日までに(確定申告に間に合うように)、認定証の写しが付いた申告領収証をロータリークラブ宛に送付します。

Rotary  
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター  
NEWS

2018年2月号

発行：Zones 1 & 2 & 3  
ロータリーコーディネーター  
ロータリー公共イメージコーディネーター  
第3ゾーン担当

### ■1月14日からアメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで国際協議会が開催されました。

世界全地区から539地区、日本の34地区のガバナーエレクトとパートナーが一堂に会し、来るべき新しい年度に向けて研修を重ねました。バリー・ラシン国際ロータリー会長エレクトから発信された力強いテーマをしっかりと胸に受け止め、新たなロータリーの世界に思いを馳せておられることでしょう。

私たちロータリアンは、会員基盤を強化し、柔軟なクラブ運営をすることにより、より多くの理解者を増やす必要があります。ロータリーの素晴らしい理念を一人でも多くの人々と共有し、私たちが目指す究極の世界平和を手になければならないからです。また、理念を求めると同時に行動もしなければなりません。皆様方お一人おひとりがロータリーの伝道者であります。ロータリーが活性化し、そのことのために更なる歩みを進めて頂きたいと思えます。

国際ロータリー 理事エレクト 三木 明

### ■柔軟性は会員増強の救世主になりうるか？

ご存知COL16においてクラブ運営に関する諸規定が従来のそれらと劇的に変革を遂げた事は記憶に新しい。それもこれも世界的に見て停滞気味の会員増強を強気に押し進めるため、又、ロータリー活性化の基盤である魅力的・効果的クラブ作りのために柔軟性導入はRIがまとめた最善の手段であろう。

#### ①:柔軟性導入後の影響

昨秋本邦全クラブに実施したアンケートの結果、柔軟性導入したクラブは全体の23%、導入予定18%、従来の運営踏襲が半数を越え53%、導入しないが6%という数字が出た。しかし、某クラブのように例会回数を月2回に減らしてみたら、ヤッパリ毎週例会が良いということで早くも元に戻したケースもあると聞く。一方、世界ではRIが2016/7/1、即ちクラブに柔軟性導入推奨開始時点の会員数は1年経過の昨年同時期と比較したら約5千人減の120万人強であった。これから推察すれば柔軟性導入は現時点で世界も日本も会員増加に貢献しているとは言えない。

#### ②:過去の増強について

日本での新会員は一般的に以下の手続き「探し出す、紹介する、入会を勧める、入会させる、導き・情報を伝達する、参加させる、研修する」を経て入会し、理念を伴った優秀なロータリアンに成長してきた。増強とは文字通り「会員を増やし、クラブを強くする」事だ。初めから柔軟性と言う概念はクラブにも新入会員にもなかったのは事実であろう。

#### ③:今後の増強について

増強は組織維持のため永遠の課題である。基本的にロータリーは他の奉仕団体と違うことを強調し、合わせて日本独自の慣習・考え方に則り進めるのがベスト。しかし、いつまでも過去の理論に固執し、世界の流れ、時代の流れ、社会環境の変化への対応が遅れないようにすべきだ。RIは柔軟性と言う画期的な概念を提案し、導入を推奨し、変革を促しているように我々もこれを日本流に改変し、応用し、増強に活用する時期が来たようだ。とは言っても増強への王道はクラブ会長と会員が丸となって汗を流す事に尽きると思う。

第3ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 伊藤文利(D2690,倉吉RC)

### ■各地域社会でのロータリー広報・公共イメージ活動

ロータリーの公共イメージの向上を図るために、ロータリーにはロータリアンやその活動の恩恵を受ける地域社会の人々との間に心温まる感動や感謝のストーリーが沢山あります。それをよりシンプルに、一貫性のある形で伝えていくことが大切です。そして、ロータリーの活動の成功例をマスメディアや地方自治体などに紹介できるよう、ロータリー公共イメージ向上に向け、地域に適したアプローチを促進することです。

ロータリーの公共イメージ向上に必要なことは何でしょうか。

ロータリーとは何か。ほかの団体とどう違うのか。なぜロータリーが必要なのかなど、ロータリーを人々に伝える方法を考え直す必要が生じています。

今、私たちがなすべきことは何でしょうか。

すべてのロータリアンがロータリーの一員として自覚と誇りを持って行動を起こすことだと思います。四つのテストに照らしてみましょう。

コミュニケーションをする際にロータリアン各自がロータリーの理念を守り、活動を推進して、ロータリーの目的を効果的に伝えることが重要です。

例えば、2730地区の私が所属している鹿児島西RCでは1965年からクラブ独自に定めた表彰制度で社会の目立たないところで誠実に継続的に意義のある社会奉仕活動を続けている個人あるいは団体を顕彰するためのロータリー賞を創設し、毎年のクラブ創立記念日例会で表彰を行いその活動を紹介しています。マスコミも表彰式には毎年取材をしてロータリー賞について報道します。

少子高齢社会の現在、地域には自治体やNPO法人などと共同で行うことができ、地域が必要としているプロジェクトが沢山あります。既にそれぞれのクラブが独自の奉仕活動を展開していますが各クラブの活動がロータリーの活動として認識してもらうためには、ロータリーの理念とRI戦略計画をよく理解し、統一されたロータリーのイメージで情報を発信することが各地域社会でのロータリー広報・公共イメージ活動が効果的なものになると思います。

第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 山下皓三(D2730,鹿児島西RC)



米山奨学生の紹介



日本留学と人生目標

オウ コク トウ  
黄 国 棟 (マレーシア)

北海道大学・札幌南RC

こんにちは。黄国棟と申します。マレーシア生まれですが、中華系です。2011年3月11日に東日本大震災を知り、日本留学を決定しました。大反対されましたが、2012年来日、2013年、函館高専に進学し、去年の4月高専を卒業して社会人になりました。今年の4月、北海道大学に編入し、現在は毎日楽しく、好きなことを勉強しております。

高専に入ったばかりの頃、基礎が弱すぎたので、物理と数学の先生の特訓を受けさせられました。そのお陰で、理学が好きになり、一年半後、人生の目標も見つけました。それは知能の真髄を探すことです。人

工知能は精密農業、消費者金融、医療用画像処理や個別化医療など沢山の分野に巨大な未開発のものがあるので、これから急速に技術成長していくと考えます。何十年後、真の知能革命も起こり、全ての科学の進展が高度加速されることで、現在の解決出来ない多くの世界問題も解決出来るようになります。

人工知能は、単に人間と置き換わるのではなく、それぞれの人の状況を考慮し、人を楽しませると考えます。脱線していると思われるかもしれませんが、一生の時間と精神をかけて頑張っ参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

留萌RC	森 幹雄	会員	(1回)	12月22日	札幌東RC	八木 徹	会員	(2回)	12月29日
砂川RC	岩 健	悦会員	(1回)	12月25日	札幌南RC	松根 壽史	男会員	(2回)	12月25日
川川RC	伊藤 勝之	博会員	(5回)	12月25日	小樽南RC	斎藤 仁	会員	(1回)	12月12日
滝川RC	水原 徳	勝之会員	(1回)	12月25日	小樽南RC	松浦 光紀	会員	(2回)	12月12日
滝川RC	谷口 正樹	会員	(1回)	12月25日	小樽南RC	見延 庄三郎	会員	(4回)	12月12日
滝川RC	高山 訓正	正会員	(4回)	12月25日	余市RC	高橋 哲雄	会員	(2回)	12月6日
栗沢RC	枝廣 榮美	美会員	(1回)	12月11日	千歳RC	福田 武男	会員	(16回)	12月25日
札幌RC	伊藤 義郎	郎会員	(6回)	12月14日	千歳RC	今野 良紀	会員	(1回)	12月25日
札幌はまなすRC	小山内 繁樹	樹会員	(1回)	12月28日	函館セントラルRC	伊藤 道雄	会員	(13回)	12月6日
札幌北RC	黒川 篤	会会員	(2回)	12月8日	函館セントラルRC	鍋谷 操子	会員	(16回)	12月6日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

羽幌RC	出口 治康	会会員	(1回)	12月8日	千歳RC	今村 静男	男会員	(1回)	12月25日
羽幌RC	堀川 理智子	子会員	(1回)	12月8日	千歳RC	加藤 輝明	明会員	(1回)	12月25日
羽幌RC	工藤 喜一	一会員	(1回)	12月8日	千歳RC	今野 良紀	紀会員	(1回)	12月25日
羽幌RC	武田 秀夫	夫会員	(2回)	12月8日	千歳RC	福田 裕子	子会員	(3回)	12月25日
留萌RC	森 幹雄	雄会員	(1回)	12月22日	千歳RC	瀧澤 順久	久会員	(8回)	12月25日
美唄RC	伊原 潤司	司会員	(4回)	12月28日	函館RC	原 一彰	彰会員	(3回)	12月15日
岩見沢RC	岡本 等	等会員	(3回)	12月8日	函館RC	井上 司	司会員	(1回)	12月12日
札幌北RC	栗原 清昭	昭会員	(3回)	12月25日	函館セントラルRC	南 茂樹	樹会員	(5回)	12月20日
札幌北RC	草間 孝廣	廣会員	(3回)	12月25日	白老RC	田辺 真樹	樹会員	(1回)	12月19日
札幌北RC	齊藤 昌一	一会員	(3回)	12月25日	白老RC	仙田 公昭	昭会員	(2回)	12月19日
札幌西北RC	小川 眞治	治会員	(7回)	12月26日	苫小牧RC	渡辺 健治	治会員	(2回)	12月8日
札幌東RC	菊地 章	章会員	(2回)	12月27日	苫小牧RC	豊田 健一	一会員	(1回)	12月6日
札幌東RC	田尾 重良	良会員	(4回)	12月27日	苫小牧北RC	阿部 寛	寛会員	(2回)	12月6日
札幌東RC	高橋 徹	徹会員	(6回)	12月29日	苫小牧北RC	朝倉 瑞昌	昌会員	(2回)	12月6日
余市RC	高橋 哲雄	雄会員	(1回)	12月6日	苫小牧北RC	谷岡 裕司	司会員	(4回)	12月6日
千歳RC	藤川 俊一	一会員	(1回)	12月25日	苫小牧北RC	伊藤 竹雄	雄会員	(7回)	12月6日

ポール・ハリス・フェロー

羽幌RC	鎌田 健治	治会員		12月8日	千歳RC	沼田 常好	好会員		12月25日
砂川RC	山根 正久	久会員		12月25日	白老RC	鈴木 一弘	弘会員		12月19日
滝川RC	松尾 建二	二会員		12月29日	白老RC	山田 和子	子会員		12月19日
札幌はまなすRC	小山内 繁樹	樹会員		12月28日					

# 地区カレンダー (2月・3月)

2月 平和と紛争予防／紛争解決月間	
1 (木)	
2 (金)	
3 (土)	第9グループIM (室蘭)
4 (日)	第8グループIM (様似) 様似RC創立50周年記念式典
5 (月)	
6 (火)	
7 (水)	
8 (木)	
9 (金)	
10 (土)	2018-19年度ガバナー補佐研修セミナー (札幌) 2018-19年度地区チーム研修セミナー (札幌)
11 (日)	建国記念日
12 (月祝)	
13 (火)	
14 (水)	
15 (木)	
16 (金)	
17 (土)	
18 (日)	
19 (月)	
20 (火)	
21 (水)	
22 (木)	
23 (金)	ロータリー創立記念日
24 (土)	
25 (日)	
26 (月)	
27 (火)	
28 (水)	

3月 水と衛生月間	
1 (木)	日台ロータリー親善会議
2 (金)	
3 (土)	2018年3月終了米山奨学生送別会
4 (日)	
5 (月)	
6 (火)	
7 (水)	
8 (木)	
9 (金)	
10 (土)	2017-18年度会長エレクト研修セミナー (札幌)
11 (日)	地区財団セミナー・米山セミナー (札幌)
12 (月)	
13 (火)	
14 (水)	
15 (木)	
16 (金)	
17 (土)	第4・5グループIM (札幌)
18 (日)	
19 (月)	
20 (火)	
21 (水)	春分の日
22 (木)	
23 (金)	
24 (土)	第10・11グループIM (函館)
25 (日)	
26 (月)	
27 (火)	
28 (水)	
29 (木)	
30 (金)	
31 (土)	第3グループIM (岩見沢)



## 出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2017.7.1	2017.12.30	増	減	
1	深川	3	30	33	3	2	79.23
	羽幌	3	45	43	-2	2	81.82
	妹背牛	4	7	7	0	0	92.85
	留萌	3	34	36	2	3	90.61
	小計		116	119	3	7	86.13
2	赤平	3	29	29	0	2	70.51
	芦別	3	32	32	0	2	79.30
	砂川	3	41	41	0	1	94.15
	滝川	3	87	94	7	4	76.00
	小計		189	196	7	9	79.99
	3	美唄	3	29	27	-2	0
江別		3	32	32	0	1	80.81
江別西		4	29	30	1	4	92.50
岩見沢		3	75	76	1	0	96.01
岩見沢東		3	19	19	0	2	85.19
栗沢		3	19	19	0	1	86.90
栗山		3	26	26	0	4	97.33
当別		3	27	27	0	0	90.21
小計			256	256	0	12	89.36
4	札幌	2	117	128	11	2	96.30
	札幌はまなす	3	21	20	-1	3	77.28
	札幌北	3	42	41	-1	4	90.99
	札幌モーニング	3	34	36	2	0	73.06
	札幌西	3	48	50	2	9	75.76
	札幌西北	3	34	34	0	3	80.10
	札幌手稲	3	39	39	0	4	93.07
	小計		335	348	13	25	83.79
	5	札幌東	4	132	126	-6	0
札幌清田		3	13	12	-1	4	100.00
札幌幌南		4	66	66	0	11	98.96
札幌真駒内		3	23	24	1	6	100.00
札幌南		3	85	88	3	1	92.71
札幌大通公園		3	13	14	1	4	45.20
新札幌		3	24	22	-2	3	84.12
小計			356	352	-4	29	88.35
6	岩内	3	21	21	0	1	80.95
	倶知安	3	40	40	0	3	70.50
	小樽	4	73	77	4	4	78.03
	小樽南	2	67	65	-2	2	88.85
	小樽銭函	3	19	20	1	1	81.60
	蘭越	4	10	10	0	0	85.00
	余市	3	45	45	0	6	84.30
	小計		275	277	2	17	81.32

12月出席率・  
会員増減数

クラブ数	69クラブ
期首会員数	2,551人
当月末会員数(女性)	2,605人(160人)
増加会員数	54人
当月平均出席率	82.76%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2017.7.1	2017.12.30	増	減	
7	千歳	3	63	70	7	7	87.14
	千歳セントラル	3	43	42	-1	7	71.43
	恵庭	3	48	50	2	3	84.06
	北広島	3	20	19	-1	0	81.43
	長沼	2	17	17	0	3	85.29
	由仁	2	7	7	0	0	78.57
	小計		198	205	7	20	81.32
8	えりも	2	16	17	1	1	97.05
	三石	3	12	12	0	0	70.00
	様似	4	18	18	0	1	67.36
	静内	4	69	69	0	4	86.33
	浦河	2	26	27	1	2	72.23
	小計		141	143	2	8	78.59
	9	伊達	3	60	64	4	1
室蘭		3	33	33	0	1	80.40
室蘭東		4	31	37	6	0	79.30
室蘭北		3	42	46	4	3	70.92
登別		3	28	28	0	1	82.14
洞爺湖		2	10	10	0	0	80.00
小計			204	218	14	6	78.60
10	函館	4	76	83	7	0	72.70
	函館亀田	4	40	42	2	4	80.49
	森	3	36	36	0	0	75.00
	七飯	3	12	12	0	0	78.00
	長万部	2	8	10	2	0	85.00
	函館セントラル	4	22	21	-1	2	85.69
	小計		194	204	10	6	79.48
11	江差	2	11	11	0	1	77.27
	函館五稜郭	3	55	56	1	0	82.03
	函館東	3	45	43	-2	7	77.52
	函館北	3	20	18	-2	0	96.08
	北斗	3	13	13	0	0	56.40
	小計		144	141	-3	8	77.86
	12	白老	3	29	29	0	3
苫小牧		4	55	60	5	3	78.68
苫小牧東		3	29	29	0	5	85.06
苫小牧北		4	30	28	-2	2	96.43
小計			143	146	3	13	84.54
合計			2,551	2,605	54	160	82.76

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数12名(内女性会員6名)を含む

# インスピレーション

いたるところに

# 今すぐご登録を!

RICONVENTION.ORG



ロータリー国際大会  
2018年6月23～27日  
カナダ、トロント

# 文庫通信

(364号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。  
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は  
勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。  
また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。  
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。  
以下資料のご紹介を致します。

## 新着の文献から

- |   |           |
|---|-----------|
| ◎「国際ロータリー会長 田中作次さんに聞こう!ロータリーとは、奉仕とは、<br>人生とは(講演及び会員との質疑応答)」 | 田中 作次     |
| 2017 11p (D.2570地区大会報告書)                                    |           |
| ◎「地球温暖化防止の切り札は?」  | 牛山 泉      |
| 2017 17p (D.2550地区大会の記念誌)                                   |           |
| ◎「世界を照らすLED」  | 天野 浩      |
| 2017 9p (第45回ロータリー研究会報告書)                                   |           |
| ◎「四国で一羽の蝶々がはばたくと、世界でハリケーンが生じる<br>～情熱と意志を持って」                | 北川 正恭     |
| 2017 10p (D.2670地区大会記録)                                     |           |
| ◎「安全保障と危機管理」  | 越野 修三     |
| 2017 10p (D.2830RYLA報告書)                                    |           |
| ◎「日露首脳会談と政局の行方」   | 岸井 成格     |
| 2017 19p (D.2660地区大会報告書)                                    |           |
| ◎「母子の健康」  | 対馬ルリ子     |
| 2017 6p (D.2830地区大会記録誌)                                     |           |
| ◎「福井県の恐竜時代」   | 東 洋一      |
| 2017 4p (D.2650地区大会記念誌)                                     |           |
| ◎「山形大学のナスカの地上絵研究」   | 山形大学研究チーム |
| 2014 5p (D.2800地区大会講演集)                                     |           |

(上記申込先: ロータリー文庫)

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

## 表紙の解説

函館は、1854年(安政元年)に締結した日米和親条約により、日本初の国際開港地となった歴史都市です。

そうした経緯もあって、函館市内には「日本で最初」、「北海道で最初」といわれる数多くの建造物や足跡などが現存しています。

月信では、そうした「最初」の数々の中から、13点を選出し、各月の表紙で紹介します。

表紙写真提供/函館中央図書館蔵



**Rotary**  
District 2510

